

医療DX東京なび（仮称）

「東京都データマネジメント基本方針」を踏まえ、ポータルサイト単体でデータを保有するのではなく、**東京都共通のデータ基盤（Tokyo Map、データで分かる東京）と連携**し、組織横断的な利活用を図る

情報の重複や分断を防ぎながら、都民が必要な情報にスムーズにアクセス可能

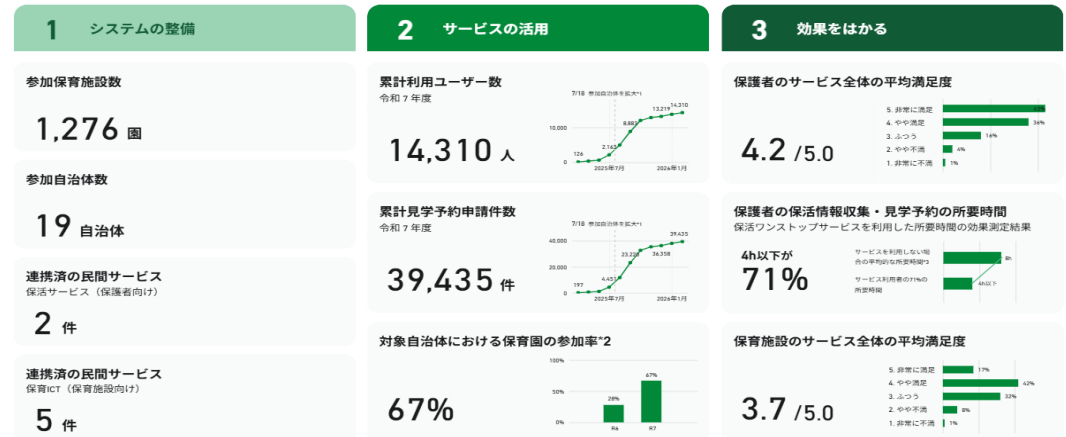
Tokyo Map

東京都が保有している様々な地図情報を、1つの地図情報に集約したサービス



データでわかる東京

東京都の様々なダッシュボード（様々なデータを一つの画面に集約し、視覚的にわかりやすく表示するツール）を体系化したポータルサイト



その他、サイトの具体的なコンテンツ（次ページ参照）については現在調整中

医療DX普及啓発動画

○災害編を追加して**5シリーズ**に

○各動画は**15秒**

○動画の冒頭又は末尾で「医療DX東京なび（仮称）」を案内

○広告媒体として**LINE、X、Facebook、Instagram**の各SNS及び**YouTube**を活用

シリーズ名	医療DXの概要編	若年層編	子育て世代編	高齢者編	災害編
ターゲット層	全年齢	主に10代後半～30代	主に30代～50代	主に60代以上	全都民

現状・課題

- 医療機関及び患者のメリットが、広く正しく伝わっていないのが現状
- 医療機関と患者双方のメリット、電子カルテの導入状況をはじめとした医療DX全体の見える化、各種支援の制度等の情報を分かりやすく発信をして、入手できることが必要

都民・医療機関向けに医療DXのメリット等をまとめたサイト「医療DX東京ナビ（仮称）」を構築する

掲載情報（案）

【全体向け】

- ✓ 医療DXとは（全国医療情報プラットフォームの概要等）
- ✓ 医療DXのメリット（医療機関・都民）

【都民向け】

- ✓ 電子カルテ導入状況等のダッシュボード
- ✓ 医療機関における医療DXの取組状況の掲載
⇒ **地図上に落として検索可能**に。（基本情報はナビと連携）
- ✓ 事例紹介（電子カルテ情報の連携・PMH接続等によるメリット等）
例：検査の重複、飲み合わせの悪い投薬、重複投薬の減
- ✓ 暮らしの中の医療情報ナビ_医療DX編等（マンガ）を掲載
- ✓ PMH接続医療機関、区市町村の掲載

【医療機関向け】

- ✓ 国・都の各施策（補助金等の各種支援事業）
- ✓ サイバーセキュリティ対策について
- ✓ 事例集（電子カルテ導入・PMH接続事例、AI活用事例等）など

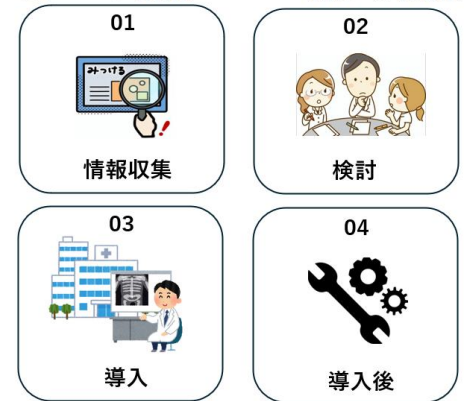
サイトイメージ（案）

【トップページ】



【医療機関向けページ】

電子カルテ支援メニューの紹介（目的別）



スケジュール（案）

R8年4月～8月	総合評価方式により委託事業者決定
9月～2月	サイト構築、テスト作業
R9年3月	サイト運用開始



この他、**掲載すべき情報**はどのようなものがあるか。また医療DXの取組を**どのように見える化**するか。
サイトへの誘導策はどのようなものがあるか。御意見をいただきたい。